

2) 診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位 5 位まで）

【診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位 5 位まで）の集計方法と定義】

- ◆ 各診療科別に患者数の多い DPC14桁分類について DPC コード、名称、患者数、自院の平均在院日数、全国の平均在院日数、転院率、平均年齢、患者用パス（任意）、解説を示す。
- ◆ 全国の平均在院日数は厚生労働省より公開された平均在院日数の全国値の数値を示す。
- ◆ 一般病棟の中における転科においては、主たる診療科は医療資源を最も投入した傷病の担当医が所属する科で集計する。
- ◆ 同じ疾患に対し複数科で診療を行った場合も、様式 1 に登録されている診療科（医療資源を最も投入した傷病の診療を担当した医師の所属する診療科）で集計する。
- ◆ 「転院」については、退院先が「4 他の病院・診療所への転院」とし、転院患者数／全退院数を転院率とする。

(注1*) DPC 対象病院とは厚生労働省により分けられており、大学病院本院群、DPC特定病院群、DPC標準病院群となっていて、現在当院は DPC標準病院群に属しています。

トップ5が10件以上ある診療科のみ掲載の対象としていますが、その限りではありません。

(内科、糖尿病・内分泌内科、精神科、皮膚・アレルギー科、放射線科、麻酔科、臨床検査科、病理診断科、リハビリテーション科は除外)

【出典】

DPC導入の影響評価に係る調査関連情報ホームページ
機能評価係数Ⅱの保険診療指数における「病院情報の公表」に関する資料 <http://www.prrism.com/dpc/2024/top.html>

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
050070xx01x0xx	頻脈性不整脈 経皮的カテーテル心筋焼灼術 手術・処置等2なし	237	4.37日	4.57日	0.00%	65.20歳	
050050xx0200xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈形成術等 手術・処置等1なし、1,2あり 手術・処置等2なし	124	6.65日	4.26日	0.81%	71.27歳	
050210xx97000x	徐脈性不整脈 手術あり 手術・処置等1なし、1,3あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	91	7.55日	9.77日	5.49%	82.00歳	
050050xx9920x0	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等1-2あり 手術・処置等2なし 他の病院・診療所の病棟からの転院以外	66	3.58日	3.25日	0.00%	71.89歳	
050030xx97000x	急性心筋梗塞(続発性合併症を含む。)、再発性心筋梗塞 その他の手術あり 手術・処置等1なし、1あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	60	10.28日	11.54日	6.67%	66.07歳	

【解説】

①対象疾患

急性冠症候群(急性心筋梗塞、不安定狭心症)を含む冠動脈疾患、うっ血性心不全、徐脈性不整脈(洞不全症候群、房室ブロック)、心室頻拍、急性大動脈解離、急性肺血栓塞栓症、閉塞性動脈硬化症等

②患者傾向

緊急に冠動脈カテーテル治療が必要な急性冠症候群(急性心筋梗塞、不安定狭心症)等、動脈硬化に起因する虚血性心疾患が増加しており、特に若年者の急性心筋梗塞や高齢女性の重症冠動脈硬化症が多い。また、ペースメーカ植え込みの適応となる徐脈性不整脈や心不全も含め、患者さんの高齢化が顕著で85~90歳以上の超高齢者も増加している。

③得意分野

当科専用の心臓カテーテル治療室とシネアンギオ装置を備えているため、夜間休日でも随時緊急の心臓カテーテル検査・カテーテル治療及びペースメーカ治療が可能である。

④診療実績

虚血性心疾患に対する心臓カテーテル検査、心臓カテーテル治療の総件数は共に増加傾向にある。下肢等の末梢動脈のカテーテル治療にも積極的に取り組んでいる。

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
060100xx01xxxx	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む。)内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術	243	3.71日	2.61日	0.00%	68.43歳	
060340xx03x00x	胆管(肝内外)結石、胆管炎 限局性腹腔膿瘍手術等手術・処置等2なし 副傷病なし	149	9.01日	8.75日	2.68%	72.80歳	
060050xx97x0xx	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(統発性を含む。)その他の手術あり手術・処置等2なし	57	11.04日	10.24日	0.00%	77.18歳	
06007xxx9910xx	膵臓、脾臓の腫瘍 手術なし 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし	36	3.06日	4.24日	0.00%	71.92歳	
060100xx99xxxx	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む。)手術なし	32	3.41日	3.00日	0.00%	75.09歳	

【解説】

大腸ポリープと肝がんが入院患者の約1/4を占め、膵がん、胃がん、大腸がん、食道がん、胆嚢胆管がん、憩室炎、胆石・総胆管結石、慢性肝炎、肝硬変、消化性潰瘍、潰瘍性大腸炎等が上位を占めた。腹部血管造影検査、肝臓がんに対する血管造影塞栓術治療、ラジオ波焼灼療法(RFA)を実施している。

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
040040xx99200x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1-2あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	83	2.87日	2.98日	0.00%	70.24歳	
040110xxxxx0xx	間質性肺炎 手術・処置等2なし	55	23.84日	18.65日	7.27%	77.47歳	
040040xx99040x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2-4あり 副傷病なし	39	10.49日	8.33日	2.56%	68.26歳	
040040xx9900xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	36	18.22日	13.59日	11.11%	73.56歳	
040040xx99041x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2-4あり 副傷病あり	34	10.15日	13.90日	0.00%	72.29歳	

【解説】

肺がん6割、肺炎、胸膜炎等の感染症が1割弱、その他に気管支喘息及びCOPD、慢性呼吸不全（在宅酸素療法等）、間質性肺炎、サルコイドーシス、アレルギー関連肺疾患、膠原病肺等のび慢性肺疾患がと肺癌を中心に多岐に渡っている。

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
110280xx9900xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	65	6.03日	11.49日	0.00%	47.71歳	
110280xx02x1xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 動脈形成術、吻合術 其他の動脈等 手術・処置等2-1あり	49	26.04日	34.07日	2.04%	71.88歳	
110280xx9902xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2-2あり	31	12.35日	8.09日	0.00%	70.58歳	
110260xx99x3xx	ネフローゼ症候群 手術なし 手術・処置等2-3あり	13	2.54日	4.65日	0.00%	32.15歳	
110280xx01x20x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 連続携帯式腹膜灌流用カテーテル腹腔内留置術 手術・処置等2-2あり 副傷病なし	12	26.50日	26.51日	0.00%	67.42歳	

【解説】

ネフローゼ症候群、透析導入患者（アクセス手術あり）等治療日数を要する患者が多く、高齢者の増加もあり、平均在院日数は他診療科よりは若干長めになる傾向がある。

慢性糸球体腎炎やネフローゼ症候群の診断治療に必要な腎生検入院も年間30～50例程度を実施している。

入院患者の主な対象疾患は、腎不全の進行による腎代替療法導入（血液透析・腹膜透析）、維持透析患者の合併症、外来診療での治療困難症例および検査（腎生検・腹膜透析患者の腹膜機能検査）、手術（透析アクセス術）、特殊治療（IgA腎症における扁桃腺摘出+ステロイドパルス療法）である。

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
130140xxxx0xx	造血器疾患(その他) 手術・処置等2なし	37	2.08日	16.09日	2.70%	51.08歳	
070560xx99x00x	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	24	19.96日	14.23日	0.00%	60.50歳	
070470xx99x5xx	関節リウマチ 手術なし 手術・処置等2-5あり	20	2.00日	3.02日	0.00%	63.85歳	
070560xx97xxxx	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患 手術あり	14	57.00日	34.37日	7.14%	67.21歳	
080140xxxxx2xx	炎症性角化症 手術・処置等2-2あり	10	2.00日	2.56日	0.00%	59.00歳	

【解説】

①対象疾患

全身性エリテマトーデス、シェーグレン症候群、関節リウマチ、多発性筋炎/皮膚筋炎、強皮症、混合性結合組織病、各種血管炎(高安動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症等)、ベーチェット病等

②患者傾向

高齢者に罹患率の高いANCA関連血管炎やリウマチ性多発筋痛症が増加傾向であるのと同時にそれらの治療に用いる副腎皮質ステロイドや免疫抑制薬・生物学的製剤の影響により感染症の合併による入院が増加傾向である。

③得意分野

関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、その他膠原病・自己免疫性疾患全般。

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
130030xx99x5xx	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等2-5あり	20	18.80日	19.61日	0.00%	65.85歳	
130010xx97x2xx	急性白血病 手術あり 手術・処置等2-2あり	17	31.59日	36.15日	0.00%	58.88歳	
130030xx99x4xx	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等2-4あり	14	7.43日	9.62日	0.00%	61.43歳	
130030xx97x50x	非ホジキンリンパ腫 手術あり 手術・処置等2-5あり 副傷病なし	13	30.69日	29.83日	7.69%	68.00歳	
130030xx99x3xx	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等2-3あり	13	9.38日	14.70日	0.00%	72.31歳	
130040xx99x5xx	多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物 手術なし 手術・処置等2-5あり	12	16.92日	16.12日	8.33%	69.50歳	

【解説】

非ホジキンリンパ腫では、外来で組織型と病期診断確定後に、初回化学療法導入目的で入院されることが一般的です。当院の特徴として、例年同様に平均年齢が高く合併症を有する患者さんが多いため、入院の長期化によるADL低下を避けるべく在院日数の短縮を心がけております。2023年度は、入院時より全身状態が悪く入院してから診断が確定して化学療法を開始する方や、リンパ腫と化学療法に伴う骨髄抑制のため輸血が必要となる方が多く、入院期間が長期化しておりました。

急性白血病では、早急な診断・治療を最優先し、速やかな無菌エリアへの入院と当科血液専門医たちによる診断確定後、化学療法を開始しています。疾患の特性上入院治療が基本となるため、早期からのリハビリテーションや口腔ケアチームの介入はもちろんのこと、患者さんの精神的・経済的・社会的サポートを目的として、診断確定時から緩和ケアチームや入退院支援チームなど多職種での積極的介入を行い、スムーズな入退院を目指しております。

多発性骨髄腫は、近年増加している抗体薬併用療法などを治療導入時のみ入院で施行し、以降は極力外来で治療を継続しております。入院早期のリハビリや医療福祉サービス導入のサポートなどの体制を整えており、転院ではなく極力自宅退院を目指して外来で化学療法が継続できるように努めております。

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
10007xxxxx1xx	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)手術・処置等2-1あり	13	11.85日	13.99日	0.00%	62.85歳	
100040xxxxx00x	糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン昏睡 手術・処置等2なし 副傷病なし	-	16.11日	13.15日	11.11%	47.89歳	
10006xxxxx1xx	1型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)手術・処置等2-1あり	-	10.33日	13.31日	0.00%	59.78歳	
10007xxxxx0xx	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)手術・処置等2なし	-	10.67日	10.66日	0.00%	63.00歳	
100180xx990x0x	副腎皮質機能亢進症、非機能性副腎皮質腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 副傷病なし	-	4.67日	6.46日	0.00%	53.67歳	
100040xxxxx10x	糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン昏睡 手術・処置等2あり 副傷病なし	-	72.00日	18.91日	100.00%	57.00歳	
10008xxxxx1xx	その他の糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)手術・処置等2-1あり	-	17.50日	19.00日	0.00%	80.50歳	
100250xx99x20x	下垂体機能低下症 手術なし 手術・処置等2-2あり 副傷病なし	-	4.50日	4.35日	0.00%	45.00歳	

【解説】

糖尿病内科は、1型や2型を含めたコントロール不良な糖尿病に対して入院治療をおこなっています。

摂取カロリー過多や運動不足による肥満、高齢化が進行する現代において、糖尿病患者数は増加の一途を辿っております。他科と連携して糖尿病合併症の予防に取り組んでいます。

糖尿病・内分泌内科では健康診断で指摘された糖尿病予備軍から急激に血糖値が上昇し速やかな治療が不可欠な劇症1型糖尿病に至るまで、さまざまな糖尿病患者さんを診療する体制を整えています。特に、糖尿病教育入院では、医師、看護師、栄養士、薬剤師がチームとなって患者さんと向き合い、生活習慣の改善や糖尿病治療薬の最適化に取り組んでいます。さらに、他の診療科と積極的に連携をとり、糖尿病合併症の効率的な治療を心がけています。また、1型糖尿病には、血糖変動のモニタリング機能を有したインスリンポンプという最先端の機器を用いてインスリン投与量の最適化に努めています。いずれのケースでも治療の効率化を図っており、その結果、平均在院日数が全国平均よりもはるかに短くなっておりませんが、入院期間は個々の患者さんの病態や社会状況により異なることにはご理解いただきたいと思えます。

内分泌疾患の代表例である副腎皮質機能亢進症、とくに原発性アルドステロン症に関しては、病型により最適な治療法が異なりますので、できうる限りの検査を行い、各患者さんに最適な治療法を提案することをポリシーとしております。そのため、若干全国の平均在院日数よりも長い入院期間となっておりますことをご理解いただければ幸いです。

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
010060x2990401	脳梗塞(脳卒中発症3日目以内、かつ、JCS10未満)手術なし手術・処置等1なし手術・処置等2-4あり副傷病なし発症前Rankin Scale 0、1又は2	32	19.25日	15.70日	59.38%	72.13歳	
010060x2990201	脳梗塞(脳卒中発症3日目以内、かつ、JCS10未満)手術なし手術・処置等1なし手術・処置等2-2あり副傷病なし発症前Rankin Scale 0、1又は2	28	17.07日	15.57日	42.86%	77.00歳	
010160xx99x10x	パーキンソン病手術なし手術・処置等2-1あり副傷病なし	25	19.24日	19.56日	8.00%	66.36歳	
010060x2990411	脳梗塞(脳卒中発症3日目以内、かつ、JCS10未満)手術なし手術・処置等1なし手術・処置等2-4あり副傷病1あり発症前Rankin Scale 0、1又は2	17	29.65日	17.39日	58.82%	72.53歳	
010110xxxxx4xx	免疫介在性・炎症性ニューロパチー手術・処置等2-4あり	15	18.20日	16.97日	20.00%	57.33歳	
010160xx97x00x	パーキンソン病手術あり手術・処置等2なし副傷病なし	15	20.27日	19.45日	13.33%	64.60歳	
010160xx99x00x	パーキンソン病手術なし手術・処置等2なし副傷病なし	15	20.33日	18.24日	13.33%	71.80歳	

【解説】

急性期脳卒中の即時入院が多く、入院患者における脳血管障害の割合が多い。当院の特徴として、高齢患者が多いこと、その影響もあって脳塞栓の割合が高いことがあげられる。急性期脳血管障害の診療は、救急・集中治療科、脳神経外科、リハビリテーション科と緊密に連携しこれまで通り超急性期患者に対する血栓溶解療法(t-PA治療)に加え、脳神経外科スタッフによる血栓回収療法も開始され急性期対応も充実したため、2020年度には脳神経・脳卒中センターを開設した。適切な時期に回復期リハビリテーションへ移行することは脳卒中患者の機能回復促進に好ましいだけでなく、新規の急性期脳卒中患者を受け入れる為にも重要であるが、練馬区における回復期ベッド数の絶対数不足が解消されていない現状があり、脳血管障害患者をスムーズに回復期リハビリテーションへ移行できていないことが課題とされている。

パーキンソン病等の変性疾患も多く入院されている。パーキンソン病では、病気の進行により、薬物コントロールが困難になった症例や脳深部刺激術に代表されるDevice Aided Therapy導入目的に入院する症例が増えた。

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
150040xxxxx0xx	熱性けいれん 手術・処置等2なし	71	3.42日	3.56日	0.00%	2.73歳	
040090xxxxxxx	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症(その他)	61	5.49日	5.96日	3.28%	0.56歳	
150070x0xx01xx	川崎病(2歳以上) 手術・処置等1なし 手術・処置等2-1あり	51	13.14日	9.64日	0.00%	3.53歳	
040100xxxxx00x	喘息 手術・処置等2なし 副傷病なし	50	6.20日	6.37日	0.00%	3.12歳	
100250xx99x20x	下垂体機能低下症 手術なし 手術・処置等2-2あり 副傷病なし	42	3.00日	4.35日	0.00%	5.43歳	

【解説】

全ての領域の小児医療に対応しており、新生児疾患、神経疾患、腎疾患、心疾患、内分泌疾患、アレルギー疾患、感染症等の症例の診療を行っている。特に成長ホルモン疾患(成長ホルモン分泌不全性低身長症、SGA性低身長症、Turner症候群、軟骨異栄養症等)は、患者数が200名を超え、東京都で2番目の病院となった。その他、神経疾患、慢性腎疾患・夜尿症、循環器疾患、感染症・予防接種等への患者さんの紹介が多い。

当院の小児診療は、小児外科との連携により胆道閉鎖症、胆道拡張症、膵胆管合流異常症、水腎症、膀胱尿管逆流症、鎖肛、(内視鏡視下での)肥厚性幽門狭窄症、虫垂炎、ヘルニア疾患等の加療が可能である。

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
060160x101xxxx	鼠径ヘルニア(15歳未満) ヘルニア手術 鼠径ヘルニア等	117	3.03日	2.75日	0.00%	3.44歳	
140590xx97xxxx	停留精巣 手術あり	53	3.00日	2.97日	0.00%	5.13歳	
11022xxx01xxxx	男性生殖器疾患 精索捻転手術等	24	2.75日	3.69日	0.00%	10.54歳	
060170xx02xx0x	閉塞、壊疽のない腹腔のヘルニア ヘルニア手術 腹壁癒痕ヘルニア等 副傷病なし	21	3.00日	6.86日	0.00%	3.29歳	
11013xxx04xxxx	下部尿路疾患 膀胱結石、異物摘出術 経尿道的手術等	18	5.00日	5.09日	0.00%	4.22歳	

【解説】

新生児から15歳までのお子さんの、ほとんど全ての外科疾患の治療(手術)を行っています。可能な限り体に負担のない手術を心がけていますので、多くの手術が内視鏡外科手術で行われています。

一般：鼠径ヘルニア、陰嚢水腫、包皮異常、臍ヘルニア

新生児：消化器、泌尿器、呼吸器症状を伴う病態全般

泌尿器：停留精巣、水腎症、膀胱尿管逆流、尿道下裂、外性器異常、尿膜管遺残

消化管：虫垂炎、便秘、ヒシュスプルング病、胃食道逆流、消化管潰瘍、腸重積、腸閉塞、肥厚性幽門
狭窄、肛門疾患、鎖肛、

肝胆膵：胆道閉鎖症、胆道拡張症、膵炎、胆石、脾腫

頭頸部：前耳介瘻孔、頸部嚢胞、リンパ節腫大、気管軟化症

体壁：漏斗胸、リンパ管腫、血管腫

腫瘍：胸部・腹部の良性・悪性腫瘍全般

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
140010x199x0xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害 (2500g以上) 手術なし 手術・処置等2なし	27	9.48日	6.07日	0.00%	0.00歳	
140010x199x1xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害 (2500g以上) 手術なし 手術・処置等2-1あり	26	11.65日	10.34日	3.85%	0.00歳	
140010x299x0xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害 (1500g以上2500g未満) 手術なし 手術・処置等2なし	12	13.67日	11.01日	0.00%	0.00歳	
140010x197x1xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害 (2500g以上) 手術あり 手術・処置等2-1あり	-	12.14日	12.48日	0.00%	0.00歳	
140010x299x1xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害 (1500g以上2500g未満) 手術なし 手術・処置等2-1あり	-	16.83日	21.12日	16.67%	0.00歳	

【解説】

DPCコードにおける病名としては、妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害が大部分を占めています。これは東京都の地域周産期医療センターとして、産科において切迫早産をはじめとするハイリスク妊婦を24時間365日体制で受け入れているためです。約半数は緊急帝王切開にて出生し、新生児科管理となります。また、院外で出生した入院治療を必要とする新生児は、新生児搬送による入院受け入れを行っています。こちらは成熟児の呼吸障害が多いですが、35-6週出生の児も含まれています。また当院は小児外科を併設しているため、数は少ないものの外科疾患の母体搬送、新生児搬送も受け入れており、最近増加傾向にあります。

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
060160x001xxxx	鼠径ヘルニア(15歳以上) ヘルニア手術 鼠径ヘルニア等	106	4.62日	4.55日	3.77%	70.65歳	
060330xx02xxxx	胆嚢疾患(胆嚢結石など) 腹腔鏡下胆嚢摘出術等	53	5.43日	5.98日	0.00%	57.79歳	
060035xx010x0x	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 結腸切除術 全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術等 手術・処置等1なし 副傷病なし	52	16.02日	15.12日	5.77%	72.23歳	
060150xx03xxxx	虫垂炎 虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わないもの等	37	5.81日	5.29日	0.00%	44.19歳	
060020xx02xxxx	胃の悪性腫瘍 胃切除術 悪性腫瘍手術等	30	23.47日	18.01日	0.00%	72.23歳	

【解説】

食道・胃・大腸、直腸、肝臓、胆道、膵臓などのがんの診断・治療を中心に診療をおこなっています。さらに、がん以外の良性腫瘍や胆嚢結石症、急性虫垂炎、消化管穿孔などの治療も専門医を中心にチーム医療を行っており、幅広い疾患に対応しております。手術以外にも最新のエビデンスやガイドラインに基づいた抗がん剤治療や分子標的治療薬を行い集学的な治療を行っています。

乳腺外科

診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位5位まで)

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
090010xx010xxx	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴うもの(内視鏡下によるものを含む。))等手術・処置等1なし	129	9.61日	9.88日	0.78%	61.49歳	
090010xx02xxxx	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴わないもの)	98	4.46日	5.64日	0.00%	61.99歳	
090010xx99x0xx	乳房の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2なし	-	10.00日	9.69日	44.44%	54.89歳	
090020xx97xxxx	乳房の良性腫瘍 手術あり	-	3.44日	4.00日	0.00%	46.11歳	
070041xx97x00x	軟部の悪性腫瘍(脊髄を除く。) 其他の手術あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	-	8.00日	9.09日	0.00%	58.75歳	
090010xx97x0xx	乳房の悪性腫瘍 其他の手術あり 手術・処置等2なし	-	10.50日	6.59日	0.00%	58.75歳	
010010xx9904xx	脳腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2-4あり	-	24.00日	25.33日	0.00%	52.50歳	
090010xx97x4xx	乳房の悪性腫瘍 其他の手術あり 手術・処置等2-4あり	-	6.50日	7.37日	0.00%	27.00歳	
090010xx99x30x	乳房の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2-3あり 副傷病なし	-	16.00日	5.68日	0.00%	66.50歳	

【解説】

外科の中でも乳がん、乳がんに伴う症状に対する治療、乳房の良性腫瘍の治療を主に行っています。診断・手術・薬物療法・放射線治療などの治療をエビデンスに基づいた内容で多職種で連携して提供できる体制を整えています。

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
040040xx97x00x	肺の悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	132	11.15日	9.89日	2.27%	69.62歳	
040200xx01x00x	気胸 肺切除術等 手術・処置等2なし 副傷病なし	35	7.29日	9.54日	0.00%	28.20歳	
040020xx97xxxx	縦隔の良性腫瘍 手術あり	16	7.31日	7.58日	0.00%	59.13歳	
040010xx01x00x	縦隔悪性腫瘍、縦隔・胸膜の悪性腫瘍 縦隔悪性腫瘍手術等 手術・処置等2なし	15	9.27日	8.84日	0.00%	65.60歳	
040150xx97x00x	肺・縦隔の感染、膿瘍形成 手術あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	15	17.40日	28.24日	0.00%	57.53歳	
040200xx99x00x	気胸 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	-	8.00日	9.17日	12.50%	55.75歳	

【解説】

①対象疾患

悪性疾患としては、原発性肺癌、転移性肺腫瘍、縦隔悪性腫瘍、胸膜中皮腫を主に扱い、良性疾患としては、嚢胞性疾患(自然気胸、巨大肺嚢胞)、胸腺腫、膿胸、炎症性腫瘍などを対象に診療を行っている。

肺癌手術を中心に、他気胸、膿胸等の準緊急疾患については麻酔科と調整しながら緊急枠にて手術を行っている。

呼吸器内科、関連各科と連携し、高齢、合併症のある方も周術期管理を綿密に行いながら積極的に手術を行っている。

手術以外にドレナージ、気管支鏡検査目的の入院もあった。

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
050180xx02xxxx	静脈・リンパ管疾患 下肢静脈瘤手術等	42	1.05日	2.61日	0.00%	72.86歳	
050080xx0101xx	弁膜症(連合弁膜症を含む。)ロス手術(自己肺動脈弁組織による大動脈基部置換術)等手術・処置等1なし手術・処置等2-1あり	22	17.68日	21.52日	0.00%	67.82歳	
050163xx03x0xx	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 ステントグラフト内挿術手術・処置等	21	9.38日	10.42日	0.00%	75.67歳	
050080xx0111xx	弁膜症(連合弁膜症を含む。)ロス手術(自己肺動脈弁組織による大動脈基部置換術)等手術・処置等1-1あり手術・処置等2-1あり	-	25.78日	33.71日	11.11%	77.11歳	
050080xx99100x	弁膜症(連合弁膜症を含む。)手術なし手術・処置等1-1あり手術・処置等2なし副傷病なし	-	4.33日	5.32日	0.00%	76.33歳	
050163xx01x1xx	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。)上行大動脈及び弓部大動脈の同時手術等手術・処置等2-1あり	-	20.44日	27.58日	0.00%	71.44歳	
050050xx0101xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 心室瘤切除術(梗塞切除を含む。)単独のもの等手術・処置等1なし手術・処置等2-1あり	-	16.00日	21.38日	0.00%	72.38歳	

【解説】

高齢者や全身の併存症を有する患者や、複合手術を要する患者の増加により重症化している状況である。術後の合併症予防のためにも、各診療科及びリハビリテーションも含め術前から時間をかけて治療を行う患者も増加している。

大動脈弁治療や、僧帽弁治療においては小切開手術や人工心肺時間の短縮など低侵襲手術を心掛けている。術後の治療については紹介元・順天堂大学医学部附属病院・関連病院を利用し、リハビリテーションが必要な患者に対して転院の上、治療継続することもある。

狭心症・慢性虚血性心疾患に関しては、心臓カテーテル検査だけではなく、脳血管評価(MRIなど)や全身末梢血管の評価も同時に行っている。

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
010040x099000x	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)(JCS10未満)手術なし手術・処置等1なし手術・処置等2なし副傷病なし	51	20.47日	19.09日	74.51%	65.88歳	
010030xx9910xx	未破裂脳動脈瘤手術なし手術・処置等1あり手術・処置等2なし	27	3.00日	2.95日	0.00%	66.67歳	
010050xx02x00x	非外傷性硬膜下血腫慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術等手術・処置等2なし副傷病なし	22	9.00日	11.87日	9.09%	78.27歳	
010060x2990401	脳梗塞(脳卒中発症3日目以内、かつ、JCS10未満)手術なし手術・処置等1なし手術・処置等2-4あり副傷病なし発症前Rankin Scale 0, 1又は2	16	18.69日	15.70日	62.50%	68.69歳	
010040x199x0xx	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)(JCS10以上)手術なし手術・処置等2なし	14	32.07日	22.61日	71.43%	70.29歳	

【解説】

症例数は、血栓回収療法を含めた急性期脳血管障害の治療に積極的に取り組んだこと、当直回数を増やし救急患者を積極的に受け入れたこと、麻酔科医師をはじめ、医療スタッフが救急医療に積極的に対応したこと等が挙げられる。

また、専門化・細分化が進む中、当院のみで全ての症例に最善の治療を提供することは困難であり、順天堂医院脳神経外科グループの多大なるご協力をいただいた。

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
07040xxx01xxxx	股関節骨頭壊死、股関節症(変形性を含む。)人工関節再置換術等	187	20.34日	19.55日	16.58%	67.26歳	
070230xx01xxxx	膝関節症(変形性を含む。)人工関節再置換術等	96	23.42日	21.96日	5.21%	74.44歳	
160620xx01xxxx	肘、膝の外傷(スポーツ障害等を含む。)腱縫合術等	82	10.77日	13.04日	0.00%	30.37歳	
160800xx01xxxx	股関節・大腿近位の骨折人工骨頭挿入術 肩、股等	40	39.13日	25.50日	55.00%	74.13歳	
070343xx97x0xx	脊柱管狭窄(脊椎症を含む。)腰部骨盤、不安定椎 その他の手術あり手術・処置等2なし	36	12.61日	15.66日	0.00%	70.03歳	

【解説】

関節疾患医療、スポーツ医療、交通災害、労働災害あるいは自然災害に対する外傷医療、高齢化社会になり益々需要が増加しつつある高齢者医療等を扱っている。

対象疾患としては整形外科疾患全般に対応しているが、特に股関節外科や膝関節外科、スポーツ外傷は専門的な治療を行っているため症例数が多い。また脊椎外科や手の外科、肩関節外科、小児整形外科の分野にも専門性を持って対応している。

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
080006xx01x0xx	皮膚の悪性腫瘍(黒色腫以外) 皮膚悪性腫瘍切除術等 手術・処置等2なし	16	8.38日	7.22日	0.00%	81.50歳	
070010xx970xxx	骨軟部の良性腫瘍(脊椎脊髄を除く。) その他の手術あり 手術・処置等1なし	12	4.00日	4.28日	0.00%	48.25歳	
070010xx010xxx	骨軟部の良性腫瘍(脊椎脊髄を除く。) 四肢・軀幹部腫瘍摘出術等 手術・処置等1なし	10	4.60日	5.14日	0.00%	53.30歳	
090010xx05xxxx	乳房の悪性腫瘍 ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	-	7.78日	7.47日	0.00%	55.56歳	
180060xx97xxxx	その他の新生物 手術あり	-	3.88日	5.77日	0.00%	41.38歳	

【解説】

形成外科では様々な理由により損なわれた体表面の見た目、機能の回復を目指しております。

乳腺外科と密に連携をとり、乳癌患者の再建手術も増加しております。当院では人工乳房、自家組織、脂肪移植の各種での再建を患者さんとの相談のもとに再建方法を決めて行っております。

皮膚悪性腫瘍の手術では平均在院日数は全国平均よりわずかに長いですが、当院では腫瘍切除と同時に動脈皮弁術やリンパ節郭清術など複雑な手技を行う症例でのみ入院加療を行っております。小～中程度の大きさの皮膚悪性腫瘍であればすべて日帰り手術で行っているため、その点が反映された在院日数の差の結果です。そのため、複雑な手技を行っていても在院日数は短いことが読み取れます。

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
110080xx991xxx	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1あり	302	2.23日	2.44日	0.00%	72.49歳	
110070xx03x0xx	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 手術・処置等2なし	170	7.56日	6.85日	0.59%	74.39歳	
110080xx01xxxx	前立腺の悪性腫瘍 前立腺悪性腫瘍手術等	93	10.52日	11.19日	0.00%	69.80歳	
110200xx02xxxx	前立腺肥大症等 経尿道的前立腺手術等	43	7.35日	7.75日	0.00%	72.86歳	
110070xx99x20x	膀胱腫瘍 手術なし 手術・処置等2-2あり 副傷病なし	41	8.22日	9.06日	0.00%	66.71歳	

【解説】

当科では、前立腺がん、膀胱がん、腎がんなど、泌尿器科悪性腫瘍に対する手術療法、薬物療法などの集学的治療に積極的に取り組んでいるため、入院患者さんは悪性腫瘍治療目的が大半を占める。

泌尿器科悪性腫瘍に対しても、新規分子標的治療薬や免疫治療薬の登場により治療選択が増えているが、高齢の患者さんが多く、安全な外来治療に移行するためには十分な入院導入治療が欠かせない。

手術療法も、現在は内視鏡手術とロボット支援手術が中心であり、従来の開腹手術や腹腔鏡下手術と比べると入院期間の短縮は顕著となった。

ロボット支援手術の適応範囲が広がったことから、今後さらに患者負担が減ることが期待される。

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
020110xx97xxx0	白内障、水晶体の疾患 手術あり 片眼	407	4.26日	2.54日	0.00%	75.45歳	
020110xx97xxx1	白内障、水晶体の疾患 手術あり 両眼	322	7.98日	4.46日	0.31%	77.51歳	
020160xx97xxx0	網膜剥離 手術あり 片眼	54	15.52日	7.81日	0.00%	55.89歳	
020200xx9710xx	黄斑、後極変性 手術あり 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし	41	11.27日	5.67日	0.00%	69.15歳	
020150xx97xxxx	斜視(外傷性・癒着性を除く。) 手術あり	26	3.00日	3.08日	0.00%	29.46歳	

【解説】

①対象疾患

角膜・結膜疾患、白内障、網膜・硝子体疾患、緑内障、斜視・弱視・先天異常等の小児眼科疾患、外傷等眼科全般の疾患に対応する。

①患者傾向

白内障の件数が多い為高齢者の割合が多い。乳幼児・学童から幅広い年齢層の患者さんとなっている。

②得意分野

網膜硝子体手術、白内障、斜視手術

③診療実績

傾向としては白内障が多く、件数として全体の約2/3以上を占めている。硝子体手術は現在、主に25G小切開硝子体手術で行っている。その他の内訳は、抗VEGF薬 硝子体内注射が大部分を占め、他に眼瞼や結膜の手術等が含まれる。

また、以前より緑内障の手術が増加し、緑内障は低侵襲緑内障手術など積極的に加療しております。

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
030350xxxxxxxx	慢性副鼻腔炎	63	5.97日	6.02日	0.00%	49.37歳	
030240xx97xxxx	扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽喉頭炎 その他の手術あり	26	9.19日	8.37日	0.00%	32.92歳	
030250xx970xxx	睡眠時無呼吸 手術あり 手術・処置等1なし	24	8.25日	8.02日	0.00%	9.13歳	
030320xxxxxxxx	鼻中隔彎曲症	22	5.64日	5.80日	0.00%	38.32歳	
030150xx97xxxx	耳・鼻・口腔・咽頭・大唾液腺の腫瘍 手術あり	15	7.07日	6.74日	0.00%	49.27歳	
030430xx97xxxx	滲出性中耳炎、耳管炎、耳管閉塞 手術あり	15	4.27日	3.23日	0.00%	4.53歳	
030440xx01xxxx	慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫 鼓室形成手術	15	6.87日	6.76日	0.00%	47.27歳	
130030xx97x00x	非ホジキンリンパ腫 手術あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	15	2.73日	7.93日	0.00%	52.27歳	

【解説】

①対象疾患

耳疾患：難聴、めまい、顔面神経麻痺等

鼻疾患：アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎、鼻中隔彎曲症、肥厚性鼻炎等

咽頭・喉頭疾患：音声障害、嚥下障害等

頭頸部腫瘍、睡眠時無呼吸症候群

②診療実績

耳・鼻・のど、頭から頸部を幅広く取り扱う科であり、その一環として順天堂医院と密に連携し、耳鼻咽喉・頭頸部の様々な疾患に対して取り扱うことのできる体制を構築している。

鼻科学に関して従来の慢性副鼻腔炎に対する内視鏡手術に加え、副鼻腔腫瘍にも適応を広げ、また重症アレルギー性鼻炎に対する手術療法を積極的に取り入れている。

順天堂医院の耳・頭頸部腫瘍グループと連携し、より多くの頭頸部疾患に対する治療の充実を図っている。

頭頸部腫瘍に対する手術実績が例年を上回った。

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
120010xx99x50x	卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2-5あり 副傷病なし	118	3.30日	4.05日	0.00%	55.68歳	
12002xxx99x40x	子宮頸・体部の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2-4あり 副傷病なし	101	3.14日	4.18日	0.00%	61.96歳	
140010x199x0xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害(2500g以上) 手術なし 手術・処置等2なし	100	3.53日	6.07日	0.00%	0.00歳	
12002xxx02x0xx	子宮頸・体部の悪性腫瘍 子宮頸部(腔部)切除術等 手術・処置等2なし	60	4.02日	2.96日	0.00%	44.33歳	
12002xxx01x0xx	子宮頸・体部の悪性腫瘍 子宮悪性腫瘍手術等 手術・処置等2なし	47	11.74日	10.10日	0.00%	55.21歳	

【解説】

①当科の対象疾患

産科：妊娠 合併症妊娠 異常妊娠 産科合併症 産科救急

婦人科：婦人科悪性腫瘍(卵巣がん 子宮頸がん 子宮体がん)

婦人科良性腫瘍(子宮筋腫 子宮内膜症 卵巣嚢腫)

初期子宮体癌に対するロボット支援下手術・腹腔鏡手術

②診療実績

(1)産科：東京都地域周産期母子医療センターとして、ハイリスク妊娠、ハイリスク分娩数が増加している。

(2)婦人科：早期・進行癌ともに婦人科悪性腫瘍の増加しており、円錐切除術、開腹手術、ロボット支援下手術ともに増加している。進行癌への術後治療として、化学療法に加えて免疫チェックポイント阻害薬の投与も増加している。

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
161070xxxx00x	薬物中毒(その他の中毒) 手術・処置等2なし 副傷病なし	162	2.70日	3.62日	37.65%	34.27歳	
160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	53	5.70日	8.38日	13.21%	55.89歳	
040081xx99x0xx	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2なし	41	10.93日	20.60日	41.46%	83.93歳	
180030xxxxxx0x	その他の感染症(真菌を除く。) 副傷病なし	28	11.25日	8.60日	25.00%	75.43歳	
030400xx99xxxx	前庭機能障害 手術なし	24	3.33日	4.73日	8.33%	77.67歳	

【解説】

救急搬送数が年間8,000件を超えており、地域救急の基幹病院としての役割を果たしている。特に緊急を要す脳卒中、頭蓋内損傷、出血性消化管出血の初期治療の対応、周術期の全身管理を行っており、前述の治療に関しては状態が安定したら専門疾患の診療科への対応している。

看護師、臨床工学技師、感染対策室と協力してsemi-closed ICU(集中治療医と主治医を連携した管理体制)を運営しており肺炎、腎臓・尿路系の感染症に対する治療に対しては集中治療を行っている。体外循環を必要とする重症患者の受け入れも年々増加している。